



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 芳治

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼経理部長 (氏名) 井嶋 正 TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,833	3.4	483	4.8	492	4.0	340	4.3
29年3月期第3四半期	6,609	6.1	461	10.8	473	10.3	326	△17.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 348百万円 (0.3%) 29年3月期第3四半期 347百万円 (32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	426.33	ー
29年3月期第3四半期	407.95	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	7,720	4,289	55.2	5,389.59
29年3月期	7,678	4,005	52.1	4,993.61

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,260百万円 29年3月期 3,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	35.00	ー	35.00	70.00
30年3月期	ー	35.00	ー		
30年3月期（予想）				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	0.7	483	△17.5	491	△18.1	328	△31.2	410.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）特電佐鳴（南通）機械製造有限公司

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	801,000株	29年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	10,452株	29年3月期	452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	798,803株	29年3月期3Q	800,614株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善を背景に、個人消費や企業収益に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。

しかしながら、米国における政策動向や東アジア地域の地政学的リスクなどによる世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行きの不透明感は払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上やコスト削減を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品・新商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,833百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は483百万円（同4.8%増）、経常利益は492百万円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は340百万円（同4.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、アルミダイカスト関連工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は4,886百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は650百万円（同0.5%減）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めましたが、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は379百万円（前年同四半期比3.5%減）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は602百万円（同1.6%減）となり、溶接材料の合計売上高は982百万円（同2.4%減）、セグメント利益は157百万円（同12.9%減）となりました。

③ 環境関連装置

環境関連装置の受注が増加したことにより、売上高は541百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は111百万円（同57.4%増）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が増加したことにより、売上高は422百万円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益は9百万円（同35.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加しました。これは、現金及び預金47百万円の減少がありましたが、電子記録債権48百万円、半成工事54百万円の増加が主な要因です。固定資産は1,316百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。これは、投資その他の資産18百万円の増加がありましたが、有形固定資産11百万円、無形固定資産10百万円の減少が主な要因です。

この結果、総資産は、7,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金50百万円、短期借入金30百万円の増加がありましたが、未払法人税等217百万円、賞与引当金127百万円の減少が主な要因です。固定負債は780百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。これは、退職給付に係る負債25百万円の増加が主な要因です。

この結果、負債合計は、3,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加しました。これは、利益剰余金284百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は55.2%（前連結会計年度末は52.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして現時点におきましては、平成29年5月18日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、中国国内に合弁会社として、ダイカストマシン用部品等の製造販売を事業内容とする特電佐鳴（南通）機械製造有限公司を設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,928,310	1,880,726
受取手形及び売掛金	2,873,478	2,912,577
電子記録債権	454,056	502,190
商品及び製品	532,497	545,049
半成工事	334,566	389,516
原材料及び貯蔵品	77,529	81,512
その他	160,275	114,650
貸倒引当金	△976	△22,197
流動資産合計	6,359,739	6,404,026
固定資産		
有形固定資産	985,093	973,888
無形固定資産	32,698	22,567
投資その他の資産	300,672	319,664
固定資産合計	1,318,465	1,316,120
資産合計	7,678,204	7,720,147
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,035,372	2,086,105
短期借入金	90,000	120,000
未払法人税等	235,320	18,139
賞与引当金	244,518	116,801
工事損失引当金	5,453	7,072
その他	299,185	301,514
流動負債合計	2,909,850	2,649,632
固定負債		
退職給付に係る負債	557,635	582,902
その他	205,463	197,661
固定負債合計	763,099	780,563
負債合計	3,672,949	3,430,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	3,204,985	3,489,502
自己株式	△968	△40,268
株主資本合計	4,083,641	4,328,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,700	16,959
為替換算調整勘定	620	2,210
退職給付に係る調整累計額	△95,336	△87,296
その他の包括利益累計額合計	△86,014	△68,127
非支配株主持分	7,628	29,219
純資産合計	4,005,255	4,289,950
負債純資産合計	7,678,204	7,720,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,609,554	6,833,770
売上原価	4,843,469	4,975,842
売上総利益	1,766,084	1,857,928
販売費及び一般管理費	1,304,783	1,374,580
営業利益	461,301	483,347
営業外収益		
受取利息	304	331
受取配当金	1,759	2,409
駐車場収入	2,225	1,911
その他	9,597	7,256
営業外収益合計	13,888	11,909
営業外費用		
支払利息	824	553
駐車場収入原価	677	646
為替差損	46	1,295
その他	—	27
営業外費用合計	1,547	2,522
経常利益	473,642	492,734
特別利益		
固定資産売却益	49	819
特別利益合計	49	819
特別損失		
固定資産除却損	225	201
特別損失合計	225	201
税金等調整前四半期純利益	473,467	493,352
法人税、住民税及び事業税	128,958	119,294
法人税等調整額	19,931	45,303
法人税等合計	148,889	164,597
四半期純利益	324,577	328,755
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,032	△11,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,610	340,555

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	324,577	328,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,188	8,258
為替換算調整勘定	250	3,130
退職給付に係る調整額	6,245	8,039
その他の包括利益合計	22,683	19,428
四半期包括利益	347,261	348,183
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,166	358,442
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,905	△10,259

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年11月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が39,300千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が40,268千円となっております。